



みずの輪

mizunowa



上下水道局のしごと No.8

下水道施設管理課



公共下水道施設や農業集落排水施設の下水管などの清掃や補修、中継ポンプ場や雨水高速処理施設の運転管理、古くなったマンホールの交換などを行っております。また、大雨時には、市街地の雨水を速やかに排除するため水門操作なども行っています。

市民の快適で衛生的な生活を維持していくため、下水道施設は毎日休むことなく運転し続けなくてはなりません。そのために職員一丸となって日夜、適切な維持管理に取り組んでいます。



高圧洗浄車によるマンホール洗浄作業

おめでとうございます!

下水道標語コンクール

市では、毎年9月10日の「下水道の日」にちなみ、下水道に対する理解と関心を深めていただくために、市立小学校の5年生を対象に標語を募集しています。今年もたくさんご応募いただき、ありがとうございました。

平成29年度(第30回)入選作品

【市長賞】

- 下水道 ぼくのくらしの パートナー 城北小学校 川代 陽章さん
- 循環で 水も心も ピッカピカ 桜城小学校 塩田 小夏さん

【教育長賞】

- もりおかの きれいな水を 守ってる 松園小学校 小澤 天さん
- 下水道 きみのおかげで みずきれい 上田小学校 佐藤 心音さん

平成29年度 優良地方公営企業総務大臣表彰を受賞しました。

7月21日、市上下水道局(水道事業)は、経営の健全性が確保され、地方公営企業の模範となる取組が行われているとして、平成29年度優良地方公営企業総務大臣表彰を受賞しました。



左が平野盛岡市上下水道事業管理者

アセットマネジメント(資産管理)を実践し、今後100年間の更新需要を踏まえた投資・財政計画を中心とする経営戦略を策定していること、料金体系の見直しなどの健全経営の取組を実施していること、隣接6市町と研究会を設置し、報告書を取りまとめるなど広域化や連携の検討について着実な進捗がみられることが評価されました。



下水道あいちゃんの 上下水道ものしりクイズ

【問題】
水道が凍結したら
どうする?

1. 熱湯をかける
2. お湯を少しずつかけて溶かす
3. 火であぶる

【答え】2. お湯を少しずつかけて溶かす

水道が凍ってしまった時、自分で解凍する場合は①蛇口をいっぱい開ける
②防寒用発泡スチロールを外す③水抜き栓のハンドルをいっぱい開ける
④お湯で蛇口、管の順番で根気強く温める の順番で作業をしてね。熱湯をかけたり、火で直接熱するのは危険だから絶対だめ!自分で解凍できない場合は、市指定給水装置工事業者へ連絡してね。

飲食店・料理店の皆様

お知らせ

グリーストラップ(グリース阻集器)を定期的に掃除しましょう

業務用の厨房などに設置されているグリーストラップは、掃除を怠ると、悪臭が発生したり、ゴキブリなどの害虫の発生場所になってしまい、大変不衛生になるほか、下水管を閉塞させた事例もあります。下水道の機能を保つため、定期的な点検清掃をよろしく願いいたします。

【お問い合わせ】給排水課排水設備係 TEL. 623-1426

上下水道局へのお問い合わせ・ご相談

TEL. 623-1411 住所/〒020-0013 盛岡市愛宕町6-8

◎上下水道局ホームページ <http://www.morioka-water.jp>

「みずの輪」のご感想を募集しています

はがき又はホームページの「ご意見・お問い合わせ」からお寄せください。抽選で5名様に粗品をプレゼント。
応募締切/2018年2月28日(当日消印有効)



上下水道の災害への備え

近年、全国各地で大きな地震や大雨による災害が発生しています。市内の水道や下水道施設も例外ではありません。しかし、どんな状況にあっても上下水道は市民生活に欠かせないライフライン。上下水道局では、災害が起きたときでも皆さんに安全な水を届け続け、雨水をきちんと排水できるように、さまざまな備えをしています。

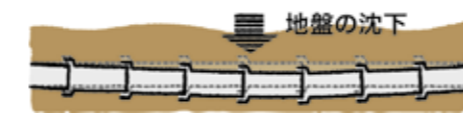
地震対策

地震への備え

上下水道局では、災害に強い水道管・下水道管の整備を継続して行っています。盛岡の水道管は設置から年数が経過したものも多く、地震などで破損すれば、断水などの原因になります。また、下水道管も被害を受ければ、汚水が流れなくなったり、道路の陥没などを引き起こすこともあります。そのため、地震に強い耐震管に交換する工事や改良する工事などを計画的に行っています。



地震に負けない配水管に交換



停電への備え

上下水道ともに、水を送ったり処理するために電力を使用するため、停電時には機能がストップすることがあります。そのような状況に備え、自家発電装置の導入や、電源車を配備するなどの対策を行っています。



移動電源車を配備し、停電時も電力を確保



電源車から施設につなぐ接続盤

大雨対策

浸水への備え

大雨時には、盛岡でも浸水のおそれがある地域があります。雨水が市街地等に溢れると危険であるばかりではなく、衛生面からみてもできるだけ早く解決しなければなりません。そのような事態を防ぐため、雨水を川に排出するポンプ場の整備などを進めています。また、上下水道局では、浸水被害等の防災対策として、浸水想定区域や避難経路を示した内水ハザードマップの作成を進めており、防災意識の向上に取り組んでいます。



雨水を排水する水路を埋設



濁りへの備え

集中豪雨や台風などに見舞われると、土砂や流木がダムや川に流れ込むことなどが原因で水道水の原水となる川の水に濁りが生じる場合があります。濁りがひどい場合、通常の水づくりができません。断水となる事例も全国では発生しています。生活に必要な水を届け続けるため、上下水道局は盛岡地域内の取水する川が異なる4つの浄水場間に連絡管を整備し、非常時に融通できる体制を整えています。また、緊急時に対応できるようにマニュアルの作成を進めています。

いつ発生するのか分からない災害。万が一の時のために、家庭でも水の備えをしておけば安心です。今日から始められる水の備え方をご紹介します。

1 飲料水を確保しよう

大人1人が1日に必要な水は、2.5リットルから3リットルとされています。最低でも3リットル×家族の人数分×3日分の飲料水を備蓄しておきましょう。

水が空気に触れないように、フタまで水をいっぱいに入れよう。



× 3日分

1人分



キーワードは 3!

水の保存は冷暗所で3日間が目安。期間が過ぎたらお花にあげたりして中身を交換!



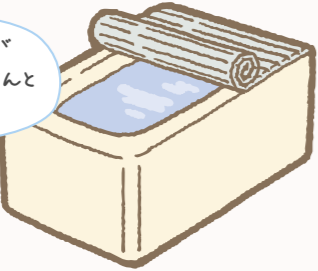
今日からできる 家庭での水の備え

2 家庭用水を確保しよう

災害時に最低限の衛生的な生活をするためには、家庭用水の備蓄も大切。お風呂にいつも水をためておくと、トイレの水や消火用水として利用できます。



乳幼児やペットが落下しないようにきちんとフタをしようね。



3 応急給水用の容器を準備しよう

災害などにより断水となった場合は、広報車などで給水拠点をお知らせします。給水拠点で応急給水を行いますので、普段から容器を準備しておきましょう。

風呂敷やリュック、旅行カバンがあると運ぶとき便利だよ!



断水時には 防災グッズを活用すると、水の節約ができます。ウェットティッシュや水のいらぬシャンプー、紙皿、紙コップなども準備しておくとう便利です。

災害対策

断水への備え

災害が起きた時、水道管が破裂して断水し、水道が使えなくなる場合があります。上下水道局では緊急時の給水を確保するため、給水車やポリタンク、給水パックなどを備え、応急給水ができる体制を整えています。緊急時には迅速な給水や復旧活動ができるように、普段から定期的に訓練を行っています。また、市民を対象にした防災訓練や見学会では、実際に皆さんに給水を体験してもらうなど、緊急時の対応についてご紹介する取り組みを行っています。



安心・安全な水を 使っていたりたくために

上下水道局は、災害に備え、施設設備の更新や技術の向上のほか、資機材の備蓄などに取り組んでいます。



技術向上のための研修



防災訓練の応急給水体験

上下水道 Q&A



【下水について】

Q. 下水とは?

下水は、雨や雪などの「雨水」と家や学校、工場などから流される「汚水」のことをいいます。

Q. 雨水と汚水は一緒に処理されているの?

雨水や汚水を下水道管へ流す方法には「分流式」と「合流式」の二種類があります。

「分流式」は、汚水は汚水管に、雨水は雨水管に別々に集めて流す方式です。分流式の場合、汚水は下水処理場で浄化された後、川などに放流されます。一方、雨水は地上や埋設されている排水路を通じて川などに放流されます。

「合流式」は、汚水と雨水を同じ下水道管で流す方式です。大雨時には、大量の雨水が混ざった汚水を処理しきれずそのまま川などに放流されてしまう欠点があります。昭和40年頃まではこの方式で整備してきたことから、初期に整備した市内中心部は合流式となっています。近年は道路整備の際に下水道管に雨水が流入しないよう改良に取り組んでいます。